


CASBEE®新潟 | 評価結果 |




- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)古町通六番町共同住宅 新潟県新潟市中央区古町通六番町982-1 外4筆 商業地域、防火地域、準防火地域 物販店,集合住宅, 2021年10月 竣工 498.59 m ² 297.21 m ² 2,367.73 m ² 地上10F RC造 実施設計段階評価 2020年7月1日	
-------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{39.5}{45.8} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.3		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	4.0
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.3		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	1.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.8		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	2.6
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	LR2.1.1	3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	1.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 省エネ等級4同等の断熱性能の向上に努め、建物の熱負荷抑制に配慮した。
- 節水型の便器やリサイクル資材を採用し資源循環の取組みに配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)古町通六番町共同住宅	階数	地上10F
建設地	新潟県新潟市中央区古町通六番町982-1 外4棟	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	43人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 竣工	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	499㎡	作成者	勝沼幸男
建築面積	297㎡	確認日	2020年7月15日
延床面積	2,368㎡	確認者	勝沼幸男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 住宅であるため、特に室内環境の向上や防犯性に配慮しました。同時に省エネルギー対策および建材の耐久性を考慮しながら、環境負荷の低減を図りました。		その他 0
Q1 室内環境 共用部は遮音性、住戸部は断熱性や遮音性に配慮しました。	Q2 サービス性能 設備配管については長寿命のものを使用するように配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 既設アーケードとの連続性を保てるよう、アーケードとの取り合いに配慮しました。
LR1 エネルギー 断熱性能の向上や高効率の照明器具等を採用し、環境負荷低減に配慮しました。	LR2 資源・マテリアル 節水型の便器の採用により水資源保護に配慮しました。また、有害物質を含まない材料を積極的に設計内容に取り入れ、環境負荷低減に配慮しました。	LR3 敷地外環境 上層部では広告物照明における光害対策として照明は不採用としました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される